

円借款案件【事後モニタリング】 結果表

国名	バングラデシュ人民共和国
案件名	ダッカーチッタゴン鉄道網整備事業

I. 案件概要

(1) L/A 承諾額	129.16 億円
(2) L/A 調印日	2007 年 12 月 11 日
(3) 実施機関	バングラデシュ国有鉄道 (Bangladesh Railways: BR)
(4) 事業概要	ダッカーチッタゴン (チョットグラム) 幹線鉄道の一部区間の複線化、車両修理工場の改修および機関車の調達等により、ダッカーチッタゴン区間の輸送能力の強化・鉄道サービスの質的向上を図り、もって同国の経済社会基盤の整備と環境の改善に寄与する。

II. レビュー/モニタリング結果

(1) 事後評価における課題・指摘の概要
事後評価時において、人員の不足もあったことから「整備された施設が適切に活用されるよう、各施設・機材の維持管理部門は、正確に必要な人員数を把握し、組織内で共有し、その確保に向けて議論を進めることが望ましい。」との提言があった。 また、BR では赤字経営が続いていることから、「今後、状況の改善に向けて BR は適切な公共サービス義務 (Public Service Obligation: PSO) 補填額や運賃の価格設定を議論し、現実的な計画を検討していく必要がある。」との提言も受けている。
(2) 対応結果/今後の対応方針/事業目標の達成見込み
各施設・機材の維持管理部門における人員の適切な配置に関し、BR は毎年正確な必要職員数を精査し、年間開発計画 (Annual Development Programme。以下、ADP という) による予算割り当てを受けており、ADP を通じてバングラデシュ政府への申請を行っている。また、BR は、業務自体の運営効率化もあわせて進めており、ADB の支援 ¹ を受け、組織体制の合理化及び信号の電子化等によるオペレーション上の効率化を進めつつ、採用活動は継続しており、採用された駅務に従事する要員に対するトレーニングも行っている状況である。 なお、事後評価時に確認されている本事業で整備された 11 カ所の駅のうちの 3 か所の駅 (Naoti, Sharshadi, Kalidaha) の状況について、2025 年 2 月時点でも閉鎖されている状況に変わりはないが、順次稼働をすべく、採用活動やトレーニングを進めていることを確認している。 運賃の価格設定に関しては、一部の長距離割引撤廃や国際列車の優先席運賃を

¹ Improving the Operational Efficiency of Bangladesh Railway (2024-2025) にて組織面での運行効率化に関する技術協力を実施中。人員の適切な配置も含めたオペレーションプラン等が作成される予定。Consulting Services for Railway Connectivity Improvement Preparatory Facility Project (RCIPF) (2020-2024)にて改善に向けた信号の電子化の調査分析や運行に関する収益向上等を実施している。

50~60%値上げする等の対応を行っている。2016 年以降、国内運賃の値上げは行われていない状況にあったが、2024 年 3 月に、円借款「ジャムナ鉄道専用橋建設事業」を通じて整備した区間（Dhaka-Rajshahi, Rangpur, Sirajganj, Kurigram, Panchagarh 等）の運賃の値上げを決定し、2025 年 3 月から適用されている。BR は、これと合わせて既存の割引制度の廃止を通じて収入を増加させる方針も取るなど、赤字幅を減少させるべく取り組んできている。

（3）教訓

円借款で鉄道整備を行う場合は、同国が効率的かつ持続的な事業の運営・維持管理が出来るよう、必要に応じて、維持管理体制強化等の技術協力でフォローアップを検討する。また、新規の鉄道整備案件を形成していく際には、中長期的な運営・維持管理を担保する観点から、当該国の政策も踏まえつつ、運賃設定について現実的な計画の検討を促す。